

**[発売中]**

著者が実際の観測経験を基に語るその日の天文現象や星空の話題と観測のヒントなど。

話題に合わせた美しいカラー写真や星座写真。

大きく見やすい日付と曜日。

その日の月齢・日出日入・潮の干満の基礎データ。

その日に見られる重要天文現象の予報とデータ。

観測記録や思い出を書き込めるメモ欄。

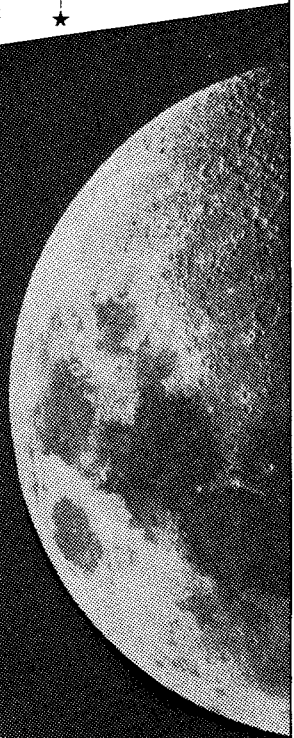
5月  
**11**  
日曜日

月	29.4
日出	4時40分
日入	18時35分
日出	4時22分
日入	18時37分
月出	4時24分
月入	17時48分
干	11時00分
満	23時20分

☆15時：水星(0.0等)がおうし座の1等星アルデバランの北を通過。夕方の西天で水星が観望の好景となっている。  
☆16時05分：新月  
☆今日の夕刻下北半島北部と北海道で部分日食が見られる。(前ページ参照)

memo

★**子もち星雲M51** 北の空高くのぼった北斗七星の柄の先々星の北西約3°のところに見える大小2個の星雲が、手をつないでいるように見える子もち星雲M51である。小口径の望遠鏡でも写真のように手をつないだ姿をかすかに見ることができ、20cmくらいの口径になるとかなり趣きがちがって、いわゆる子星雲の間にもぼよとした光芒がかなりひろがっており、親星雲とくらべて写真のように少し離れて小さくは見えない。ちょうど大小ふたつの歯車がかくついているような感じとってよいであろうか。親星雲はくわしく見ると、中に大きくカーブした黒いみぞが見え、渦巻の大きな腕が2本力強く渦巻いているのがわかり、じつに興味深い姿をしている。



充実した資料と美しい写真で綴る星空の365日。  
1975年度重要天文現象の全データを集録。

# 星日記 1975

村山定男 著  
藤井 旭  
定価1,200円

何月何日に日食があって、何月には火星が接近する……というめばしい出来事は天文ファンなら頭に刻みつけて楽しみにしているものだが、こまかい現象や毎日のデータとなると、つい見落してしまうことがある。そこで、思いついたのが、この『星日記』である。1年間毎日毎日の日の出、日の入りといった基礎データから、その日に見られる天文現象や観測のヒントなどを入れ、空欄には読者の方が観察の感想やらメモを書きこんでくだされば、あとになってこのうえない思い出になり、また貴重な記録にもなるだろうというわけである。……著者序文より